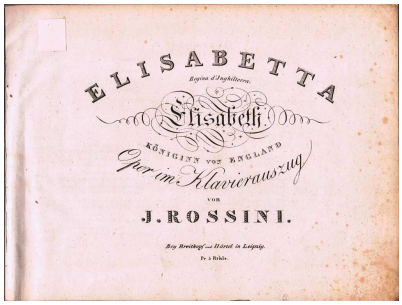
ロッシーニ《イングランド女王エリザベッタ》初版・初期楽譜 （水谷彰良コレクションより）



《イングランド女王エリザベッタ（*Elisabetta regina d'Inghilterra*）》 ２幕の
ドランマ・ペル・ムジカ（dramma per musica in due atti）
台本：ジョヴァンニ・シュミット（Giovanni Schmidt,1775-1839）
作曲：ジョアキーノ・ロッシーニ（Gioachino Rossini,1792-1868）
初演：1815 年 10 月 4 日 ナポリ、サン・カルロ劇場

1）初版楽譜（ブライトコプフ＆ヘルテル、ライプツィヒ、1819 年）

初版楽譜（ピアノ伴奏譜） ブライトコプフ＆ヘルテル、1819 年 プレート番号：3033

Spartito riduzione per canto e piano.,Breitkopf und Härtel,Leipzig,s.d.[1819] [First edition]

＊ 1 spartito ([2],163 p.) ; 24.3×33 cm, N. di lastra: 3033 ［Collezione privata di Akira Mizutani – Tokyo］

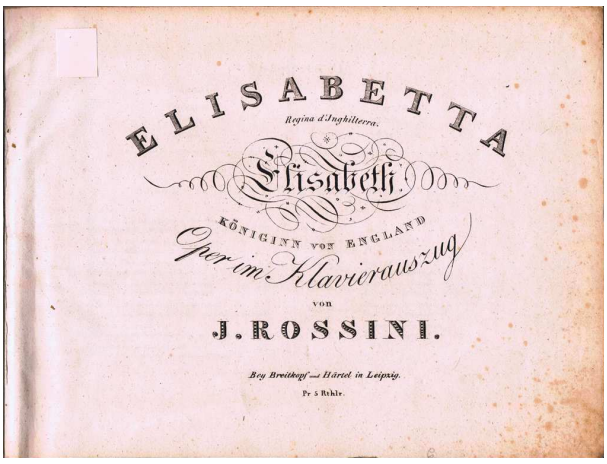
タイトル頁記載：

ELISABETTA / Regina d'Inghilterra. / Elisabeth / KÖNIGINN VON ENGLAND / Oper im Klavierauszug / von J. ROSSINI / Bey Breitkopf und Härtel in Leipzig. / Pr 5 Rthlr.

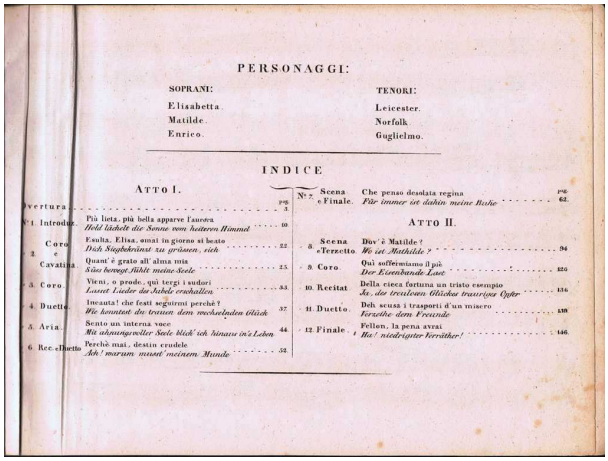
概要：

《イングランド女王エリザベッタ》の初版楽譜は、1819 年にライプツィヒのブライトコプフ＆ヘルテル（Breitkopf und Härtel）の刊行したピアノ伴奏譜である（このオペラの初演から 4 年後の出版）。筆者所蔵はハードカバー装丁で外装 25×34cm、頁サイズは 24.3×33 cm。プレート番号：3033。タイトル頁（裏：無地）、人物と目次（裏：無地）、楽譜 163 頁（pp.3-163）からなり、テキストはイタリア語にドイツ語を併記。

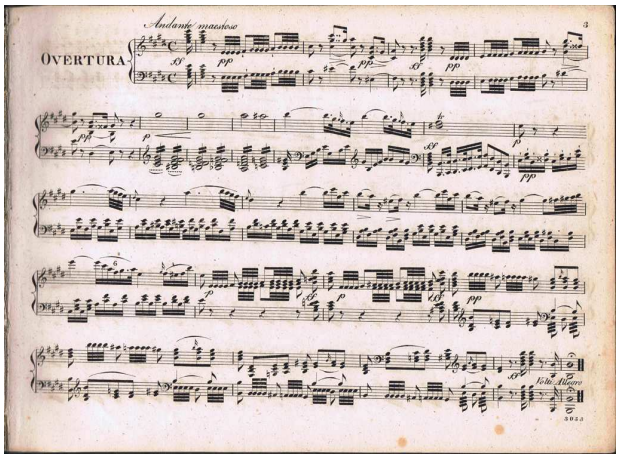
外装



タイトル頁（Breitkopf und Härtel,Leipzig,1819）



人物表と目次



序曲の冒頭頁

ドイツ語圏における最初の《イングランド女王エリザベッタ》の上演は 1818 年 1 月 24 日にドレスデンで行われ、同年 5 月 22 日にはミュンヒェンでも上演された。ドイツ語版の初演は同年 9 月 3 日にヴィーンのアン・デア・ヴィーン劇場で行われており、ブライトコプフ＆ヘルテル版はこの三つの上演と関わりがあるものと思われる（全集版が成立していないので詳細不明。刊年はロッシーニ財団による）。筆者所蔵のエディションは内容がロッシーニ財団の蔵書と完全に一致している。

2）フランス初版（ボワエルデュー・ジュンヌ、パリ、1822 年頃）

フランス初版楽譜（ピアノ伴奏譜） ボワエルデュー・ジュンヌ、パリ、1822 年頃 **プレート番号**：991

Spartito riduzione per canto e piano.,Boieldieu jeune,Paris,1822c.

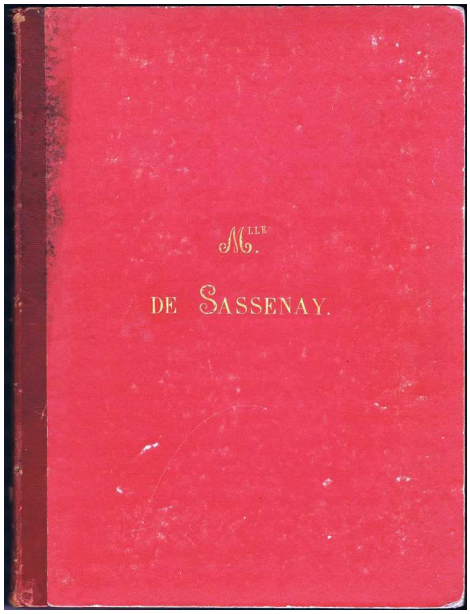
＊ 1 spartito ([2],184 p.) ; 34×25.5 cm, N. di lastra: 991 ［Collezione privata di Akira Mizutani – Tokyo］

タイトル頁記載：

ELISABETTA / Regina d'Inghilterra. / Opera in due Atti / Musica del Signor / GIOACHINO ROSSINI. / Ridotta / Per il Piano Forte. / Les Epreuves ont été revues et corrigées, pour les Paroles, par M.r Louis Balochï, et pour la Musique, par plusieurs Compositeurs. / PRIX:36.f / A PARIS, chez BOIELDIEU Jeune, Rue de Richelieu No.92, entre les Rues S.t Marc et Feydeau. / Propriété de l'Editeur,[左] Déposé à la Direction. ,[右] / (991.)

概要：

フランスにおける《イングランド女王エリザベッタ》の初版楽譜は、パリのボワエルデュー・ジュンヌ（Boieldieu jeune）による出版。筆者所蔵は背皮のハードカバー装丁で外装 35×26 cm、頁サイズは 34×25.5 cm。プレート番号：991。タイトル頁（裏：無地）、人物と目次（裏：無地）、楽譜 184 頁（pp.1-184）からなり、テキストはイタリア語のみ。



ボワエルデュー版 の
外装とタイトル頁
（Boieldieu,Paris,1822c.）

3）フランス初期版（パシーニ、パリ、1822-24 年）

フランス最初期版（ピアノ伴奏譜） パシーニ、パリ、1822-24 年 **プレート番号**：1030-1052.

Spartito riduzione per canto e piano.,Pacini,Paris,1822-24.

＊ 1 spartito ([2],185 p.) ; 33.2×25 cm, N. di lastra: 1030-1052. ［Collezione privata di Akira Mizutani – Tokyo］

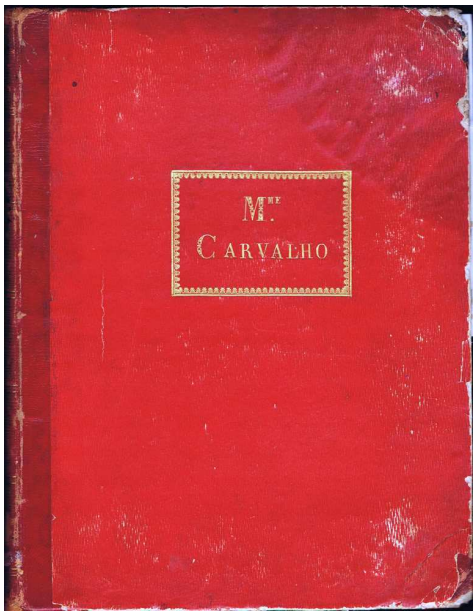
タイトル頁記載：

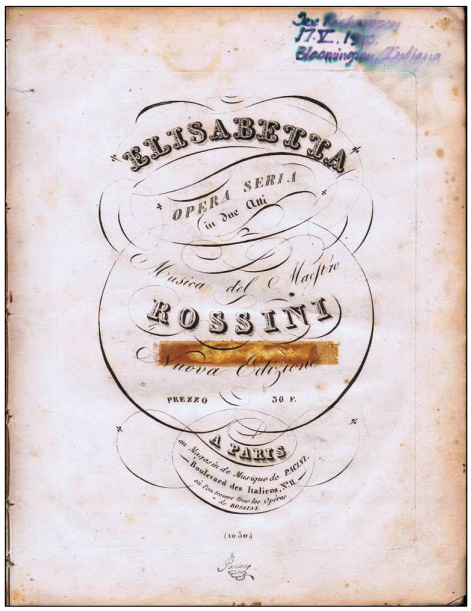
ELISABETTA / OPERA SERIA / in due Atti / Musica del Maestro / ROSSINI / Nuova Edizione / PREZZO 36F. / A PARIS / au Magasin de Musique de PACINI, / Boulevard des Italiens, No.11 / où l'on trouve tous les Opéras / de ROSSINI. / (1030.)

概要：

これはフランスにおける最初期のエディションで、「新版（Nuva Edizione）」と付記されている。筆者所蔵は背皮のハードカバー装丁で外装 35×26 cm、頁サイズは 34×26.5 cm。プレート番号：1030-1052。タイトル頁（裏：無地）、楽曲目次（裏：無地）、楽譜 185 頁（pp.1-185）からなり、テキストはイタリア語のみ。外表紙に金文字で「M.me / CARVALHO」とあり、晩年のロッシーニの友人でもあるコロラトゥーラ・ソプラノでリリック劇場支配人レオン・カルヴァロの妻ミ

オラン=カルヴァロ（Miolan-Cavalho, 生名マリー・カロリーヌ・フェリックス=ミオラン Marie Caroline Félix-Miolan,1827-1895）の旧蔵書と思われる。





パシーニ版
外装とタイトル頁
（Pacini,Paris,1822-24）

（2012 年 12 月作成。水谷彰良）